

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 サンライズ長野川中島 (放課後等デイサービス)

公表日 2025年3月29日

利用児童数 3

回収数 2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2				広くてうれしい。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。			2			感染症対策の面からは難しい課題だが、検討していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2				説明の機会があった。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			2			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	2				毎回話している。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2				行われている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			2			保護者会はありませんが、今後も保護者の皆様のご意見をできるだけ取り入れていく。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2				お便り等で知っている。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2					今後も、一層リラックスして過ごす事ができるよう配慮していく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2				行くことを楽しみにしている。	笑顔や笑い声が多く出るように、楽しい雰囲気を作っていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				満足している。	今後も、より一層リラックスして、安全に過ごす事ができるよう配慮していく。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンライズ長野川中島 (双課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 10日		2025年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日		2025年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ミーティング、カンファレンスで参加して、支援の共有をすると共に、意見を出し合い、日々の支援にあたっている。	看護師や支援員、専門職員等がそれぞれの専門性を活かし、利用者に積極的に関わっている。	利用者のニーズにより柔軟に対応できるように、職員間での細やかな情報の共有や統一した支援、各種の研修への参加等を積極的に行なっていく。
2	入浴の合間に様々な活動提供をしたり、広いスペースを活かしてスポーツ等も取り入れている。又、長期休業中は、同じ法人内の生活介護利用者との交流も心がけている。	興味関心を引きそうな各種の活動を提供すると共に、生活介護利用者と合同で活動できる日を定期的に設けることで、交流が深められるようにしている。	触って気持ちいい、聞いて心地良いものを探し出したり、よりリラックスした時間が過ごせるよう、利用者に合わせて柔軟に対応していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間で利用者への支援情報の共有ができていないことがあり、時として、利用者に対する統一した支援が、職員間で徹底できていない場合がある。	放デイ開始前まで生活介護利用者の支援にあたっており、放デイ前にミーティングの時間がとれない。又、終了後も、職員の退勤時間もバラバラで振り返りの時間がとれない日もある。	カルテ内の支援計画に書かれている目標や支援等を職員間で確認し、日々の簡潔な記録と共に、その記録を元に他の職員も統一した支援を行うことができるように、できるだけ放デイ前のミーティング等で周知徹底する。 終了後も支援の変更等あった場合は、その日のうちに振り返り、反省する時間を設けていく。
2	入浴の合間に活動提供をしているが、十分な時間がとれない日もある。	入浴の人数やその日の職員数により、入浴だけで時間が過ぎてしまい、活動が短時間しかできないことがある。	個別支援計画書に基づき、個々の得意なことを活かしたその日の担当との個別支援の充実を図る。 入浴がない日や帰りの会の時間を有効的に使い、全員でゲーム等できる時間も設けていく。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名

サンライズ長野川中島 (放課後等デイサービス)

公表日 2025年 3月 29日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	3つの活動室をうまく組み合わせており、十分なスペースである。又、必要に応じて、玄関ホールも使用可能。	利用者が夏場、玄関ホールにいる時の冷房がなく、暑い。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		玄関から活動室、トイレ、浴室までの動線が広く開放的であり、とてもシンプルな構造になっている。視覚支援等を適切に行い、利用者の視点に立って環境設定を配慮している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		空調設備が充実しており、照明も明るく、快適な空間を提供している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		パーテーション、カーテンなどをうまく活用して、環境を設定していく。又、適宜、スライドドアにより、別室に分けて使用している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		職員の意見をくみ取り、業務の改善に努める。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		管理者と面談を行い、意見・要望等を話せる時間を設けている。 朝のミーティングの時間も活用し、話し合いができています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		今後も引き続き、さまざまな研修の紹介や参加を積極的に行なっていく。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		職員全員が周知している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	児童発達支援管理責任者の細やかな配慮のもと、職員が日々、共通理解できている。 ミーティングやカンファレンスにおいて、利用者の支援について意見を出し合えるようにしている。	保護者・職員・学校等からの様々な情報を共有し、支援にできる限り取り入れていく。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		個別支援計画や日々の記録やカルテの最新情報を全職員が確認しながら支援にあたっている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	6		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		担当する職員が、必ず目を通すように声がけし、計画内容の周知を図っている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		リーダーを中心にして、他の職員のアドバイスも取り入れられるように配慮している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		活動リーダーを順番にまわし、様々な視点から活動が立案できるようにしている。又、季節ごとの創作活動も提供したり、1日の中で静と動を組み合わせたプログラムになるよう、工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	ゲームや運動を組み合わせるなど、その日の人数等の状況に応じて支援している。	入浴の合間に活動する時間があまりとれない日もある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		ミーティングでは、常に最新の情報を職員間で共有している。	放デイ開始まで生活介護を運営していることもあり、毎日必ずしも難しいが、できるだけ打ち合わせをしていきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	5	必要事項は業務日誌に記入し、他の職員への伝達もしている。 終了後とは限らないが、気付いたことはその日のうちに確認できており、振り返りや反省を行っている。	終了後、気付いた点、翌日への送りは支援者同士で行っているが、できない日もある。記録をもとに、支援の当日または翌日に共有できることを目標にしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		利用者の様子、支援内容等、細かく記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		自己選択するのは、難しいが、選択する場面では本人に投げかけている。 自主性や自発性を尊重した言葉かけを意識しながら支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			今後も、学校からの引き継ぎ時には、明確な情報の共有に努めている。 細かい点まで情報の連絡がとれている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		地域の事業所のイベントに参加したり、高校生が当事業所でダンスを披露する機会もあった。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			他の事業所との情報交換の場を大切にしている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			滞りの保護者迎え時に、担当から必ず、その日の様子や成長が見られた点を話している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			個別懇談会の時間を確保し、わかりやすく丁寧な説明に心がけている。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		個別懇談を行うと共に、悩みがある場合は、その都度、保護者と話せる時間を設けている。お迎え時の保護者の言葉や家庭の情報等を大切に、職員間で共有している。		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			保護者と話す際、他の利用者の特定情報を言わないよう、気を付けている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			引き続き、丁寧で思いやりのある言葉がけをしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8			日頃から地域ボランティアの方々に声をかけ、定期的に招待し、音楽活動等を提供して頂く時間を設けている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			カルテの情報を常に最新のものになるように更新し、職員間で共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			月々の安全点検のチェックを確実にし、破損や修理箇所がある場合は、職員間で情報共有している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			必ずミーティングで共有する事で、職員間で共通認識できるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8					

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンライズ長野川中島 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 10日		2025年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業員評価実施期間	2025年 1月 10日		2025年 2月 8日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	* 児童発達支援を実施する際は、障害の重い子や医療的ケアのある子への支援	* 児童発達支援を実施する際は、看護師や保育士等が専門的知識を活かしてチームとして関わっていく。	* 児童発達支援を実施する際は、個に応じた丁寧な支援を実施していく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	* 児童発達支援を実施する際は、活動スペースの確保や医療的ケア児の個々の特性に合わせた活動内容の検討。	* 児童発達支援を実施する際は、看護師、保育士、専門職等がチームでかかわれるような体制をつくりたいが限られた時間の中では難しい。	* 児童発達支援を実施する際は、本人の成長段階におけるニーズ、課題を検討し、保護者の意向もお聞きしながら、多職種による支援をしていきたい。
2			
3			

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	サンライズ長野川中島 (児童発達支援)				公表日	2025年 3月 29日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>					
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。						* 児童発達支援を実施する際は、一人ひとりが理解しやすいように表示等を工夫していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>					
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>					
業務 改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>					
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。					* 児童発達支援を実施する際は、事業所の評価や保護者等の意向等を把握していく。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>					
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			<input type="radio"/>			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>					
適切 な 支 援 の 提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>					
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。					* 児童発達支援を実施する際は、アセスメントに基づいた児童発達支援計画を作成する。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>					
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>					
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			<input type="radio"/>			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。					* 児童発達支援を実施する際は、児童発達支援ガイドラインに沿って、具体的な支援内容を設定していく。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>					

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。				* 児童発達支援を実施する際は、個別、集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。				* 児童発達支援を実施する際は、モニタリングを実施し、計画の見直しをしていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				* 児童発達支援を実施する際は、各機関と情報を共有していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>		* 児童発達支援を実施する際は、交流・活動していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。				* 児童発達支援を実施する際は、こどもや家族の意向を確認していきたい。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。				*児童発達支援を実施する際は、支援内容の説明や保護者からの同意を得るようにしたい。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。					*保護者との情報交換の場は大切にしていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○				*今後も地域住民を招待する機会を増やしていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			各種マニュアルを検討、策定し、研修会や防犯訓練等を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			BCPを策定し、避難訓練等を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○				
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				外部の研修会に参加を募ったり、内部での研修会を定期的実施している。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。					*児童発達支援を実施する際は、児童発達支援計画に記載する。	